

いわき民報

発行所 平市田町六三
いわき民報社 電話381
編集部 電話381
広告部 電話1222

松月堂
平市銀座街 電話二〇六

夏にキヤラバン隊 県外まで繰出す

当面の観光事業方針決る

このほど発足した常磐地区観光協会の第一回打合せは、十九日警備隊に地元立花市長代理の諸君と各市の観光、商工課、観光協会役員など十名ほど集まり、夏の観光事業方針を打ち出した。

●夏は観光客の誘致宣伝としてキヤラバン隊を編成し、奥平、栃木、茨城方面に繰り出す。具体策は関係者を集めて協議する。予定は七月三日から三日間の計画で二台のバスに五十人位の宣傳隊を乗せ、チラン、パンフレットを配布、水石山始めいわき七浜観光地の紹介に努める。

●真では飯坂、土湯、磐梯などの観光地宣傳のためカラー映画をつくったが、これにいわき七浜を加えて宣傳してもらうべく、常磐地区観光協会の名称を親しみ易いように、しかも観光地が次第に外客の注目を集めていくようにする。

退職金を支給 石川炭礦問題解決へ

閉山に伴う石川炭礦労組の退職金問題が長年行われていたが、石川炭礦の全賃用(百三十三名)が労組から退職金を受け、退職金問題が解決された。



【写真は松方公園】

炭労委員長に石井氏

警備隊の第一回打合せ

警備隊の第一回打合せは、八日定期本部の育成強化、教育活動の再点検と強化、炭労協会の統一、地区労働力の提携を定め、特に炭労協会の統一が強調された。終りに大沢委員長が挨拶した。

また九萬貫水揚げ

サバの大漁當分續く模様

警備隊内各港はこのところサバの大漁が續いている。二十日夜から二十一日朝にかけて小名浜港に漁船八隻が小サバ八万貫(七十二円)中作港に二万貫(七十二円)六十三田五十貫(七十二円)を水揚げされたが、漁場は魚太未漁となり、小名浜の両港十マイル沖合となつて居る。今後ともサバの大漁を望める。なおサバは鮮魚のほか塩蔵、ナマリ、干物に加工されている。

日ソ國交回復へ あす漁民大會開く

北洋の安全確保につき協議し、二十日午後六時、東京で開く日ソ漁民大會は、あす二十一日午後一時、小名浜から閉会する。また今月末、日ソ漁民大會は、あす二十一日午後一時、小名浜から閉会する。また今月末、日ソ漁民大會は、あす二十一日午後一時、小名浜から閉会する。

飛行機で魚群探し始る

沖合にイルカの大群発見したが、サバ群は風なかつた。双発機のため速度が速過ぎたためか、イルカが逃げ去り、引き續き二十一日の両日官船は、本飛行機から魚群を探し始る。

飛行機で魚群探し始る

沖合にイルカの大群発見したが、サバ群は風なかつた。双発機のため速度が速過ぎたためか、イルカが逃げ去り、引き續き二十一日の両日官船は、本飛行機から魚群を探し始る。

第一大洋丸も北洋へ

日ソ漁業交渉の成り行きを見て出陣した第一大洋丸は、北洋へ向かう。

ジープ購入 平土木課で

平土木課で

平土木課と管轄課ではこのほど九十三万円にツツサンの新ジープ一台を購入した。八十五馬力の大抵の坂はのぼり切るといふ原動力の六人乗り。初めは両課で一台中購入するに百二十万円以上は他に被服庫、地区の多量も決めた。

役員を改選

泉中PTA

泉中PTA総会は十九日午後一時から開き、役員を改選した。

教組支部の役員を改選

石川地方教育委員会

石川地方教育委員会は十九日午後一時から財務事務所会議室でアメリカシロトリ防除対策打合せを開き、新役員を選出した。

シロトリ防除を協議

石川地方教育委員会

天気の予報

二十一日

二十一日は晴れ時々曇り、二十一日は晴れ時々曇り、二十一日は晴れ時々曇り。

鉄道の野球

廿二、廿三日大会

平地区鉄道クラブの管内対抗野球大会は、二十一日、二十三日の両日、平市員球場で開く。

平地区鉄道クラブの管内対抗野球大会は、二十一日、二十三日の両日、平市員球場で開く。

松友

豊田酒造場吟醸

サニ一の洋食

うまい酒

目やき

志おから

女子事務員募集

三和不動産株式會社

看護婦家政婦の御用命

平市南町

万年筆は専門店

西田筆店

松村病院

内科、外科、小児科、産婦人科

警城生祭の祭典は去る十二日盛大に行われた。すでに名物化したこの祭典には周辺の住民も町の行事のように入念な準備をこなし、人気が高き天を衝く観客があつた。以下は警城生祭小宅長城氏からの報告だ。

早くも東京で平盆うた

賑った警城生祭祭だより

警城生祭もとうとう東京方面の物となり。去年は五月十四日(設立記念日)にやつたが今年五月十二日に行われた。学生の熱誠の都合を考慮して取り方を決定するわけである。祭典の頃ともなれば、附近の町の人達は何んとなく一種のフレイクに燃き込まれ、子供等は、はしゃぎ廻る。

十二日行方

警城生祭もとうとう東京方面の物となり。去年は五月十四日(設立記念日)にやつたが今年五月十二日に行われた。学生の熱誠の都合を考慮して取り方を決定するわけである。祭典の頃ともなれば、附近の町の人達は何んとなく一種のフレイクに燃き込まれ、子供等は、はしゃぎ廻る。

ボンボリも

町の大通りからリヤカーで運び込まれ、鎮守祭用にとり置き、ボンボリが、祭の周辺に張りまわされかねまじき情勢なのである。町人達はそれぞれ立場で胸を痛め出すのである。祭典が来ぬに、町内が賑やかに明るくあつたのだから無理もない。

市長の祝電

祝電 第三回祭のおもむきで、種々快活なる盛況あり、さてこそ御慶び申上げます。小生も是非参加したく存じますが、連日市政の運営に多忙を極め、遂にその機会なきを遺憾に感じます。明日は事務局より祝電を送ります。

平盆うたも

祭典プロは午後三時から相撲、五月十一日 諸橋市長一 おぼやりに祝電も燃えたる警城生祭。警城まつりのよみや太鼓の音、祭典プロは午後三時から相撲。

文化

×な気分を味わえ、特に警城生祭は、祭典の意義と情熱を象徴する和歌あふいたるレクリエーションとして大いに好評だ。

學士も参加

今年の祭典の異色は何んと云へば、この三月に祭典から大学を卒業された新卒生達の参加である。伊藤久(外務省)長谷川一(通商産業省)田中弘(日本通運)高木秀吉(東京府庁)等が真新しい背負袋を背負って、非常な熱意で参加された。

寮歌の発表

寮歌の発表も高熱を帯びた。妙法は、おのゝ内妙法寺のこと。おのゝ内妙法寺のこと。おのゝ内妙法寺のこと。

雪の友手をつなげ、雲の友手をつなげ、雪の友手をつなげ、雲の友手をつなげ。

加藤君一等

はじめに祭典に出席した。新人祭生は加藤二郎(平市、法政大学)野田一(内郡市、成信大学)黒沢正美(勿来市、東邦大学)の諸君で、安藤君(平市)が賞状を授けられた。

石の上三年

今年が玄門、昇、便所等の増改築を記念した祭典も考慮したが、さすがは来年の設立三周年祭という有難いお祭があつた。

補充兵の恩給適用

【問】 私は戦時補充兵として、但し旧普通恩給証書をもっている方は請求する権利がありますか。(平福社事務所)

市民の談

恩給法の適用は受けられないでしょうか。復員時の階級は兵長です。(平市、H生)



私の冷汗談、暑と優れた技術により出口を脱したといえ、今にして思えば満載したトラックに倒れた不明な原因をどうにか究明し、危険に際して適切な処置をとった運転手には敬意と感謝を捧げるものである。

福大生ら視察、福大官田教授は学生二十五名は、三十一日警城市小宅第一、第二中の両校を教育視察する。

絶賛上映中! 廿四日まで 大映カラー・総天然色映画 残菊物語 長谷川一夫 淡島千景

100貨店、お母さん! 俺は無償だ! 肉の御用は 三三三屋へ

公営住宅入居者公募告示、貸店舗、新婚日記

室役重、真昼の暗黒、聚楽館、お母さん! 俺は無償だ!